

令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立湊江第一小学校 校長 大森 千里

1 学校教育目標

- ① 考える子：基礎的基本的な学力と自ら学ぶ力や判断力を身に付けた子
- ② 思いやりのある子：多様な考えを認め合い、他を思いやる心を身に付けた子
- ③ 鍛える子：運動に親しみ、心身を鍛え、健康で安全な生活を目指す子
- ④ よく働く子：自己責任を果たす態度や協力する態度を身に付けた子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12903 冊（蔵書基準冊数 10360 冊）／ 蔵書率 125.4%（元年度末 112.3%）									
	② 新規購入図書 644 冊 ／ 廃棄図書 11 冊 ／ 増減冊数 633 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.6%	0.7%	6.7%	6.6%	11.9%	3.9%	2.1%	6.3%	5.4%	54.8%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8時15分から16時45分									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 29冊（前々年度末：20.5冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 67.5%（前々年度末：44%）									

（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13294 冊（蔵書基準冊数 10360 冊）／ 蔵書率 128.3%									
	② 新規購入図書 490 冊 ／ 廃棄図書 122 冊 ／ 増減冊数 368 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2	1	7	7	13	4	2	6	5	53
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：8時45分から15時45分（前年度からの変更あり）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 39冊（前年度末：29冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 69.5%（前年度末：67.5%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読みやすい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。 ③学校推薦図書を活用し、自分から進んで選書する力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館を使う授業により、本を手取る機会を増やす。 ②学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③学校図書館の利用の仕方について知る。	①各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間を利用して、年間一人当たり40冊以上の本を読む。 ③学校推薦図書を5冊以上読む。
目標達成状況	
①各クラス月1回以上、学校図書館を利用した。(100%達成) ②読書旬間等を利用して、年間一人あたり40冊以上の本を読むことができた。(100%達成) ③学校推薦図書を学年1人当たり5冊以上読むことができた。(平均14.94冊)	

第2学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。 ③学校推薦図書を活用し自分から進んで選書する能力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間を利用して、年間一人当たり40冊以上の本を読む。 ③学校推薦図書を5冊以上読む。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、学校図書館を利用した。(100%達成) ②読書旬間を利用して、年間一人あたり40冊以上の本を読むことができた。(100%達成) ③学校推薦図書を学年1人当たり5冊以上読むことができた。(平均15.3冊)	
第3学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる。 ③学校推薦図書を活用し、自分から進んで選書する能力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間を利用して、年間一人当たり30冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに参加する。 ④学校推薦図書を5冊以上読む。
目標達成状況	
①各クラス月2回以上、学校図書館を利用した。(100%達成) ②読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読むことができた。(100%達成) ③調べる学習コンクールの参加率は97%だった。 ④学校推薦図書を学年1人当たり5冊以上読むことはできなかった。(平均3.49冊)	
第4学年	①いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。 ③学校推薦図書を活用し、自分から進んで選書する能力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ②辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書をするができる。	①各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書旬間を利用して、年間一人当たり30冊以上の本を読む。 ③調べる学習コンクールに参加する。 ④学校推薦図書を5冊以上読む。
目標達成状況	
①コロナ禍により、タブレットを活用することが多く、目標を達成することができなかった。 ②読書旬間を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読むことができた。(100%達成) ③調べる学習コンクールの参加率は93%だった。 ④学校推薦図書を学年1人当たり5冊以上読むことはできなかった。(平均2.15冊)	
第5学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。 ③学校推薦図書を活用し、自分から進んで選書する能力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準

①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
②複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	②年間一人当たり20冊以上の本を読む。
③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	③調べる学習コンクールに参加する。
	④学校推薦図書を5冊以上読む。

目標達成状況	
①コロナ禍により、家から本を持って来た本を読んだりタブレットを活用したりすることが多く、目標を達成することができなかった。	
②年間一人あたり20冊以上の本を読むことはできなかった。	
③調べる学習コンクールの参加率は97%だった。	
④学校推薦図書を学年1人当たり5冊以上読むことはできなかった。(平均2.89冊)	

第6学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ②きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。 ③学校推薦図書を活用し、自分から進んで選書する能力を育てる。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	①各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
②複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。	②年間一人当たり10冊以上の本を読む。
③学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	③調べる学習コンクールに参加する。
	④学校推薦図書を5冊以上読む。

目標達成状況	
①コロナ禍により、家から本を持って来た本を読んだりタブレットを活用したりすることが多く、目標を達成することができなかった。	
②年間一人あたり10冊以上の本を読むことができた。(100%達成)	
③調べる学習コンクールの参加率は80%だった。	
④学校推薦図書を学年1人当たり5冊以上読むことはできなかった。(平均1.98冊)	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果	
取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を9月中に完了させる。 ② 新年度学校図書館案内図を学校図書館支援員やボランティアと協力して4月中に完成させる。 ③ 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	① 9月中に完了し、新刊本をたくさんの児童が手に取ることができた。 ② 完成したが、年度中に書架を移動させた棚もあるため適宜見直しをしていく。 ③ 少ない分類の本を中心に購入計画を立て、購入した。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、学校図書館支援員との連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に学校図書館支援員へ相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。	① 図書室での読み語りや、お昼の放送での読み語りをしていただいた。 ② 単元に合わせて、必要な本を揃えていただき、授業に活用することができた。 ③ 学校図書館支援員やボランティアと連携して、図書館運営をすることができた。
【その他】 ・ クラス利用の図書の学習時に、「読み語り」「資料収集」など学校図書館支援員に援助してもらう。	今年度から「渾一推薦図書」の取り組みを始めた。本選びやリストの作成に学校図書館支援員に協力していただいた。年度末に職員から反省を募って見直しをし、来年度新しいリストを提案する。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

- ・学校図書館入室前と退出後には必ず手洗いをさせた。
- ・返却する本を、児童一人一人が迷わずに書架に戻すことができるように各学級で指導した。
- ・引き続き、期日を守って返却するように校内全体で指導していく。
- ・今年度から取り組みを始めた「渕一推薦図書」は、学級によって取り組みにばらつきがあった。
- ・昨年度作成した「読書の木」はあまり活用できなかった。
- ・図書委員による読み聞かせ（1・2年生に向けて）を2回実施することができた。
- ・昨年度よりも図書ボランティアさんに活動していただく日数を確保できた。
- ・各学年、ブックトラックを活用して、辞典や授業で使う図鑑等の貸し出しができた。
- ・地域の図書館と連携して、様々な本を授業で活用することができた。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・「渕一推薦図書」に影響がないようチェックし、近年にはない大規模な廃棄作業を進めた。
- ・除籍された図書でまだ読書が可能な資料は、学級文庫として再度利用できるように、低・中・高学年に分け、先生方が選びやすくした。
- ・図書館内には新着図書を置くコーナーを設け、児童が興味をもてるようにした。
- ・「渕一推薦図書」や課題図書を中心に本の紹介や読み語りをを行い、貸し出しに繋げた。